

横坂 源 チェロ・リサイタル

ジャクリヌの涙

Program

ヘンデル:

チェロ・ソナタ ト短調

オッフエンバック:

ジャクリヌの涙

ファリャ:

スペイン民謡組曲

アザラシヴィリ:

無言歌

バルトーク:

ルーマニア民族舞曲

シュニトケ:

古い様式による組曲

ドビュッシー:

月の光

ショスタコーヴィッチ:

チェロ・ソナタ ニ短調 op.40

[ピアノ] 沼沢淑音

2025 3/22(土) 19:00 開演 (18:20開場)
全席指定 4,400円(税込)

ザ・シンフォニーホール

主催: ザ・シンフォニーホール

プレイガイド

■e+(イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)
■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード: 51885]
■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 271-012]

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。

横坂 源 チェロ・リサイタル

ジャクリーヌの涙

「Elegy」と題したリサイタルプログラムにお声をかけていただいてから4年が経ちました。心から信頼するピアニストの方々と、新しい作品への挑戦にはいつも喜びと多くの学びがあり、コンサートを支えてくださるホールの皆様、温かく見守ってくださる大阪のお客様に心より感謝申し上げます。

音楽を愛するお客様とご一緒にきた時間は色濃く、ザ・シンフォニーホールは、私にとって親しみのある故郷のような、永遠に忘れることのない大切な場所となりました。

ピアニストの沼沢さんは、桐朋学園時代にかけがえのない時間を共に過ごした大切な友人です。彼の音楽は内的で美しく、一緒に演奏していると私自身、自然体でいられるような気がします。皆様に再びお目にかかれる日を心待ちにしております。

横坂 源



[チェロ] 横坂 源 Gen Yokosaka, Cello

新潟市出身。桐朋学園女子高等学校(男女共学)を卒業後、ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。これまでに鷺尾勝郎、毛利伯郎、ジャン＝ギャン・ケラスの各氏に師事。2002年全日本ビバホール・チェロコンクール史上最年少で第1位。2005年出光音楽賞、2008年齋藤秀雄メモリアル基金賞、2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位、2012年ホテルオークラ音楽賞など多数受賞。2009年には、全ドイツ学生音楽コンクール室内楽部門で第1位を受賞。豊かな音楽性やイマジネーションが卓抜したテクニックで表現され、「力強く、豊かで、円熟した音色、そして高い集中力と、何よりも情熱的で生き生きとした演奏」(ハレール・タグプロット)など、各誌で絶賛されている。13歳で東京交響楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲共演を皮切りにソリストとしてデビュー、2019年/2020年には演奏活動20周年を迎え、ドイツでWürth PhilharmonikerとS.スヴィリドフのチェロ協奏曲『つばき』の新作委嘱・世界初演と東京交響楽団(齋藤友香理指揮)との日本初演を行った。また日本フィルハーモニー

交響楽団(山田和樹指揮)とは、M.ルグランのチェロ協奏曲の日本初演を果たした。2021年2月、NHK交響楽団(尾高忠明指揮)とショスタコーヴィチのチェロ協奏曲、2022年1月には、東京都交響楽団(尾高忠明指揮)とエルガーのチェロ協奏曲を協演。録音では、2016年「J.S.バッハ:ガンパ・ソナタ集(ピアノ:藤井一興)」、2020年12月「シューマン&メンデルスゾーン(ピアノ:加藤洋之)」をリリースし、レコード芸術誌で特選盤に選ばれた。現在最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人である。



[ピアノ] 沼沢 淑音 Yoshito Numasawa, Piano

桐朋女子高等学校音楽科ピアノ科を首席で卒業、あわせて桐朋学園音楽部門より特別奨学金を授与される。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマを経て(公財)ロームミュージックファンデーションの奨学生としてエリソ・ヴィルサラゼ氏のもと2015年にモスクワ音楽院を卒業。ケルン国際音楽コンクール第3位入賞、シュニトケ国際コンクール、ポリーニも過去に優勝した権威あるポッツォーリ国際ピアノコンクールで優勝。『素晴らしい輝かしいピアニストで私は彼の特別な繊細な感受性と音楽への献身に心動かされました』(マルタ・アルゲリッチ氏)と称賛される。数々のオーケストラと共演し、ラ・フォル・ジュルネ、別府アルゲリッチ音楽祭等、日本国内各地はじめ欧州各地の音楽祭に出演。2024年4月より桐朋学園大学音楽部門准教授。